

令和6年度 学校評価報告書(目標設定)

	視点	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①普通科とスポーツ科学科相互の融和を図り、それぞれの特性を生かし、教育の充実を図る。 ①探究活動の質を向上させる。 ①習熟度別学習を有効に活用して、学力の向上を図る。 ②生徒主体の生徒会活動・行事運営を行う。	①ICTをテーマにした研究授業や教科内研修、授業見学等を実施する。 ①探究活動の組織的な支援体制を構築する。 ①習熟度別学習による個々の生徒に適した授業展開を実施し、PCを活用した家庭学習を勧める。 ②生徒の主体的な取り組みを支援し、施設の制限を見通した企画立案をする。	①研究授業、授業見学等を実施できたか。また、事例を共有できたか。 ①探究活動の組織的な支援体制を整え、探究活動を計画的に進行することができたか。 ①家庭学習が習慣化したか。 ②生徒会行事の満足度が80%を超えたか。
2	(幼児・児童) 生徒指導・支援	①規律正しく、安心安全な学校生活を維持できるよう指導支援する。 ②部活動や行事を通して、生徒の主体性、協調性を育む。	①ヘルメットインフルエンサー事業モデル校として、市と連携して交通安全に対する規範意識を向上させる。 ①教育相談コーディネーターを中心に教員・SC・SSW・外部機関と連携した教育相談体制を整える。 ②新入生歓迎会だけでなく、他の行事を通じて情報発信し、年間を通して入部を促す。	①交通事故発生件数を各学年5件以下にする。 ①ケース会議の実施、SC、SSWへの相談により、問題が解決した事案が前年度より増えたか ②入部率65%以上を達成できたか。また、入部維持率が90%以上を達成できたか。
3	進路指導・支援	①職業観を育成し、社会的な自立に向けた現実的な進路指導を行う。 ②総合的な人間力を進路実現に発揮する方法を身につけさせる。	①職業体験活動や講話、出張講義、校種間連携等を活用し、職業観の育成を通じて現実的な進路スケジュールを立てさせる。 ①入試制度に関する職員研修を実施する。 ②キャリアナビプログラムを導入し、キャリアパスポートやスタディサポート、高校での経験等を進路活動に活用させる。	①職業体験活動等を計画立案し、参加生徒はそれによって現実的な進路を考えられたか。 ①職員研修を実施したか。 ②導入したキャリアナビやキャリアパスポート、スタディサポート等は効果的に活用できたか。
4	地域等との協働	①生徒の学習意欲や進路意識を高められるような高大連携教育を推進する。 ②厚木北高校の魅力を発信し、地域とともにある学校作りを進める。	①より多くの生徒が関われる高大連携の方法を探る。 ②タイムリーにホームページを更新し、厚木北高校の魅力を発信する。 ②運動部の活動を参考に、その他の部活動が活躍できる方法を検討する。	①高大連携プログラムに参加する生徒が前年度より増えたか。 ②ホームページに常に新しい情報を載せることができたか。 ②その他の部活動が活躍できる方法を企画立案したか。
5	学校管理 学校運営	①地域と連携した防災教育を推進し、生徒が自主的・積極的に防災活動に取り組む。 ②教育の情報化を充実させ、ICTの効果的な活用を図る。	①小中高大地域が連携しての防災活動を開催する。 ②教育の情報化に対応するコミュニケーションツールや教育用アプリの活用事例の収集・共有を図る。 ②1人1台PCについてルールを徹底し、その活用を定着させる。 ②Teamsの活用法をさらに検討し、推進する。	①生徒の自主的・主体的な防災活動を地域等と連携して実施できたか。 ②コミュニケーションツールや教育用アプリの活用事例の収集・共有ができたか。(アンケート) ②1人1台PCについて、活用が定着したか。 ②Teamsの活用により、職員間の連携は進んだか。